令和 4 年度茨城県計画に関する 事後評価

令和 7 年 1 月
茨城県

事業の実施状況（介護分）

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業					
事業名	【No. 3-1（介護分）】 地域密着型老人福祉施設整備推進事業 老人福祉施設開設準備経費助成事業	【総事業費】 365,337 千円 （繰越分）				
事業の対象となる区域	県内全高齢者福祉圏					
事業の実施主体	茨城県					
事業の期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日 ☒ 継続 / ☐ 終了					
背景にある医療・介護ニーズ	高齢化が進展する中、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を継続的に営めるよう、地域の特性に応じた、多様で柔軟なサービスの提供が可能な介護サービス拠点等の基盤整備を図る。 アウトカム指標：地域密着型サービス施設の定員総数及び施設数を増加させる。 【第8期いばらき高齢者プラン21 計画期間：令和3年度～令和5年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型介護老人福祉施設 + 97床 ・地域密着型特定施設入居者生活介護事業所 + 20人 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 + 5箇所 ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 + 9箇所 					
事業の内容（当初計画）	①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="text-align: center;">整備予定施設等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>介護施設等の創設を条件に行う広域型施設の大規模修繕</td> <td style="text-align: right;">1箇所</td> </tr> </table> ②介護施設等の開設・設置等に必要な経費に対して助成を行う。 特別養護老人ホーム及び併設ショートステイ4箇所、介護付きホーム1箇所		整備予定施設等		介護施設等の創設を条件に行う広域型施設の大規模修繕	1箇所
整備予定施設等						
介護施設等の創設を条件に行う広域型施設の大規模修繕	1箇所					
アウトプット指標（当初の目標値）	地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域密着型サービス施設等の整備等を支援することにより、下記目標に向けて地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。 【第8期いばらき高齢者プラン21 計画期間：令和3年度～令和5年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型介護老人福祉施設 1,216床 → 1,313床 ・地域密着型特定施設入居者生活介護事業所 41人 → 61人 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 10箇所 → 15箇所 ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 11箇所 → 20箇所 					

<p>アウトプット指標（達成値）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型介護老人福祉施設 1,276 床（R5） ・地域密着型特定施設入居者生活介護事業所 41 人（R5） ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 14 箇所（R5） ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 17 箇所（R5）
<p>事業の有効性・効率性</p>	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標値： 地域密着型サービス施設等の入所・入居定員数増 →観察できた。</p> <p>地域密着型サービス施設等の整備により、高齢者が住み慣れた地域において、安心して生活できる体制の構築が図られた。</p> <p>（1）事業の有効性 特定の地域、施設に偏ることなく、全県的に多様な施設が整備されており、地域包括ケアシステム構築に向けた整備が進んでいる。</p> <p>（2）事業の効率性 市町村が募集しても事業者からの応募がなく、また、事業の繰り越し等により目標整備数を達成しないものもあるが、着実に整備数が積み上がっており、効率的な整備を進めているといえる。</p>
<p>その他</p>	

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 5-19 (介護分)】 ロボット介護機器普及支援事業	【総事業費】 50,435 千円 (繰越分)
事業の対象となる区域	県内全高齢者福祉圏	
事業の実施主体	高齢者施設	
事業の期間	令和4年4月1日～令和6年3月31日 ☐ 継続 / ☒ 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	介護ロボットの導入により、労働環境の改善を図り、介護職員の定着を促進する。	
	アウトカム指標： いばらき高齢者プラン 21 計画（令和元年度～令和7年度）より、介護職員数 42,001 人から 46,964 人に増やす。	
事業の内容（当初計画）	ロボット介護機器を導入する介護施設に対する補助	
アウトプット指標（当初の目標値）	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット介護機器の導入台数：450 台 ・通信環境整備を行う事業所数：14 事業所 	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット介護機器の導入台数：604 台 ・通信環境整備を行う事業所数：12 事業所 	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標値： 介護職員数の増加 → 観察できた。 令和6年3月31日時点 介護職員数 43,548 人	
	<p>(1) 事業の有効性 ロボット介護機器の導入により、介護従事者の負担軽減を図ることができた。</p> <p>(2) 事業の効率性 ロボット介護機器の導入促進をすることで、職員の負担軽減に繋がっており、介護現場の職場改善に寄与できた。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 5-20 (介護分)】 ICT 導入支援事業	【総事業費】 30,346 千円 (繰越分)
事業の対象となる区域	県内全高齢者福祉圏	
事業の実施主体	高齢者施設	
事業の期間	令和4年4月1日～令和6年3月31日 ☐ 継続 / ☒ 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	ICT 機器の導入により、業務の効率化を進め、職場環境の改善や人材確保を図る。	
	アウトカム指標： いばらき高齢者プラン 21 計画（令和元年度～令和7年度）より、介護職員数 42,001 人から 46,964 人に増やす。	
事業の内容（当初計画）	ICT 機器を導入する介護施設に対する補助	
アウトプット指標（当初の目標値）	ICT 機器導入事業所数：45 事業所	
アウトプット指標（達成値）	ICT 機器導入事業所数：38 事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標値： 介護職員数の増加 → 観察できた。 令和6年3月31日時点 介護職員数 43,548 人	
	<p>（1）事業の有効性 ICT 機器の導入により、介護従事者の負担軽減を図ることができた</p> <p>（2）事業の効率性 ICT 機器の導入促進をすることで、職員の負担軽減に繋がり、介護現場の職場改善に寄与できた</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【No. 5-21 (介護分)】 介護施設等感染拡大防止事業	【総事業費】 2,014,247 千円
事業の対象となる区域	県内全高齢者福祉圏	
事業の実施主体	高齢者施設	
事業の期間	令和4年4月1日～令和6年3月31日 ☐ 継続 / ☒ 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	新型コロナウイルス感染による緊急時のサービス提供に必要な介護人材を確保するとともに、介護に従事する者が安心・安全に業務を行うことができるよう感染症が発生した介護サービス事業所・施設等の職場環境の復旧・改善を支援する アウトカム指標：新型コロナウイルス感染症が発生した介護サービス事業所におけるサービス提供の継続	
事業の内容 (当初計画)	通常の介護サービスでの提供では想定されないかかり増し費用を助成 ・ 緊急時の介護人材確保に係る費用 ・ 職場環境の復旧・環境整備に係る費用 ・ 感染対策等を行った上での施設内療養に係る費用	
アウトプット指標 (当初の目標値)	サービス継続に必要な経費補助：約 1,000 事業所	
アウトプット指標 (達成値)	サービス継続に必要な経費補助：954 事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標値： 介護サービス事業所におけるサービス提供の継続→観察できた。 ・ 介護サービス事業所数 4,331 事業所数 (R4.4.1) →4,378 事業所 (R6.4.1) (1) 事業の有効性 新型コロナウイルス感染症流行下においても、要介護者やその家族にとって必要不可欠なものである介護サービスの継続を支援することができた。 (2) 事業の効率性 感染者等が発生した施設等を効率的に支援することができた。	
その他		